

平成29年度当初予算における政策的新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業実施を見送ったもの】

文化市民局 予算要求の内容			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
戸籍記載不要届書の電算化	現在は紙で管理されている戸籍記載不要届書（外国人に係る戸籍届書で戸籍への記載を要しないもの）をデータ化して戸籍システム上で管理することで、検索を容易にして迅速な証明発行を可能とし、また、経年劣化の著しい届書を、法令及び通達等が求める永年保存に耐え得るものとする。	105,500	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	<p>全市的に大規模な投資事業が多数控えている中、総事業費が数億円に上る本事業については緊急性を慎重に見極める必要がある。</p> <p>引き続き、全市の財政状況を考慮のうえ、実施の是非を検討していく。</p>
京都コンサートホール大規模改修に向けた調査	京都コンサートホールは、平成27年に開館20年を迎え、設備の更新やバリアフリー化の対応等の課題が生じており、計画的な大規模改修に向けて検討を行う必要がある。 平成29年度は基礎調査に着手する。	10,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	<p>全市的に大規模な投資事業が多数控えている中、多額の総事業費が見込まれる本事業については緊急性を慎重に見極める必要がある。</p> <p>緊急を要する修繕には対応しつつ、引き続き、全市の財政状況を考慮のうえ、実施の是非を検討していく。</p>
京都五山送り火調査（国の重要無形民俗文化財の指定に向けた調査）	京都五山送り火は、各山それぞれが昭和58年の第1回市指定登録の際に文化財登録された、京都市を代表する文化財のひとつであり、更なる文化財の保護・継承の取組を推進するため、国の重要無形民俗文化財の指定に向けて、文化庁及び有識者の指導に基づき調査と報告書等の製作等を行う。	4,400	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	<p>文化財指定に向けた機運が十分に高まった段階で、再度、予算化の是非の検討を行う。</p>

平成29年度当初予算における政策的新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業実施を見送ったもの】

文化市民局 予算要求の内容			検討が必要な事項	今後の対応
事業名	事業概要	要求額		
二条城を核とする周辺地域活性化事業	<p>二条城を核とした周辺エリアを活性化するための取組を実施する。平成29年度は、周辺エリアマップの更新及び地元住民と連携した地域活性化イベントを実施する。</p> <p>また、数多くの観光客が訪れる二条城－岡崎間の観光ルートを開拓するため、情報誌を発行するなど、魅力あふれるまち歩きのルートを創出する。</p>	4,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	28年度と同様、引き続き、局配分枠予算により活性化事業を実施する。
伏見桃山城天守閣耐震診断	<p>地域の活性化や観光振興の観点から、伏見桃山城の活用について、庁内プロジェクト会議を立ち上げ、検討することとしている。</p> <p>平成29年度は、今後の整備活用方針を検討するため、詳細な耐震診断の調査を行う。</p>	23,200	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	まずは今後のあり方について検討する。